



アジア研修センター裏庭に立つ「あじけん桜」。植樹から7年が経ちました。

2020.3.26 撮影

4月に入りました。今年は記録的な暖冬ということもあり、桜の開花が早く、実習生の皆さんの目を楽しませてくれた桜の花も、すでに疎らとなってきています。また来年、綺麗な花を咲かせてくれることでしょう。

世界的な流行が続いている新型コロナウイルスの影響で、本校で学ぶ実習生の姿も疎らとなってきました。それでも先月末に入国を果たした実習生の皆さんは、ウイルスに負けず、いつも通りに元気一杯で、日本語学習に励んでいます。授業では、引き続き手洗いと換気の奨励、また、放課後や週末には、いわゆる3密（密集・密閉・密接）を避けた行動を呼びかけています。日本にいる全ての技能実習生の皆さんが、新型コロナウイルスに感染することなく、円滑に技能実習に取り組める事を願うばかりです。

## あじけんスコープ Vol.84

### ～あじけん桜でお花見体験～

先月26日（木）、アジア研修センターの裏庭の桜（通称「あじけん桜」）の花が、満開を迎えました。

今年は、新型コロナウイルスの流行拡大の影響で、公園などでの花見ができない状況もあったので、実習生の皆さんに、授業時間を利用して、クラス単位で、ささやかなお花見体験をしようことにしました。

靴を脱いで、ブルーシートに座っての日本式のお花見を体験して、皆さん笑顔が絶えない一時となりました。



担任の大久保先生（最前列向かって左から2番目）と笑顔で記念撮影

## 今月の実習生



今月の実習生は、授業で手作りマスク作りに挑戦した（今月号裏面・あじけん流日本語授業参照）インドネシア人実習生 ADITYA NUR SAPUTORA（サプトラ）さんをご紹介します。

以下はサプトラさんが書いた授業の感想文です。来日直後の実習生の皆さんも、深刻なマスク不足に直面している実情が、よく伝わってくる文章かと思います。

きょうははじめてべんりなマスクをつくりました。さいきんはコロナがあまりから どんどん マスクがなくなってしまう。どこにもありません。でもきょうはべんりなマスクをつくりましたからあまりしんぱいしなくなりました。これからよくべんりなマスクをつくらうとおもいます。ほんとうによかったです。べんりなマスクのつくりかたをならいましたから。どうもありがとうございます。とてもやくにたちます。

# あじけん流日本語授業

## ～手作りマスクに挑戦！～

今月号の表面でもご紹介した通り、新型コロナウイルスの感染拡大を受けてのマスク不足は、外国人技能実習生にとっても、深刻な問題になっています。そこで先日、授業で手作りマスク作りに挑戦してみました。今月のあじけん流日本語授業は、その時の様子をご紹介させていただきます。

教材として選んだマスクは、初級の学習者でも、日本語の指示に従って無理なく作成できるシンプルな作業工程の物。また、今後の日本での生活でも実際に役立つように、実習生の皆さんにも、安価で、購入し易い材料で作れる物をインターネットで検索しました。

※参考：キッチンペーパーで作る紙マスク <https://sonaeru.jp/goods/handiwor/groceries/g-12/>

授業では、講師の手順説明を聞いて、作業を進めるリスニング活動に加えて、学習者が講師に、作業手順に関する質問や確認、また作業完成時の報告をするスピーキングタスクも適時取り入れました。作業の最後には、マスクを作成した感想を書くライティング指導も入れました。感想文には、講師からのコメントが付けられるので、このコメントを読むことで、「聞く」「話す」「書く」「読む」の日本語コミュニケーションの4技能全てをバランスよく練習することが出来ました。作ったマスクは、簡易マスクなので、ウイルスを完全にシャットアウトできるわけではありませんが、飛沫の飛散を防ぐ等エチケット面では十分活用できるマスクなので、正に一石二鳥のコミュニケーション活動となりました。今後も、適時カリキュラムに取り入れていくことを現在検討中です。



導入部：手作りマスクの材料の語彙を学習する実習生

先生に手順を確認しながら作業する実習生



耳に掛ける輪ゴムをホチキス止めする実習



完成した手作りマスクを付けて記念撮影

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます



きぼう  
- 希望 HOPE -